



小泉の片桐小学校から小林への野道の先に、「八幡神社跡地」の広場があります。昔、この付近に梅檀木(せんだんのき)という小さな村がありました。

梅檀木村は、明治23年、大阪鉄道(現JR)の開通で全戸が立ち退きになり、廃村の止むなきに至った村です。

この村には女神が居ました。

平安時代の木彫りの女神で、八幡神社の神様でした。村が無くなった後、神社と供に小泉神社に移られ、今は市の文化財になっています。

何年か前に先祖の労苦を偲び、神社の跡地に梅檀の木が植えられました。木は大きく育ち、今年も青い小さな実が沢山なりました。

(梅檀木村の女神さま 小泉)